

令和8年度 第1回学校運営協議会議事録

日 時：令和8年4月28日（火）17：00～18：00

場 所：加古川小学校会議室

出席者：池野明隆委員 本岡好子委員 石井加納子委員 井上岳人委員 大川弘純委員
中島一朗委員 松下智哉委員 桐山朋宏校長 笠木勝範教頭 伊郷英智教務主任

内 容：

1 委員委嘱状交付

2 学校運営協議会について

事務局より説明を行った。（市教委作成の資料による）

（1）学校運営協議会とは

（2）学校運営協議会の変更点について

- ・本年度より運営要綱が改正され、委員への報酬は「会議出席ごとの支給」から「年間活動に対する報酬（年額1万円）」へ変更された
- ・会議は原則として年3回開催するが、授業参観や学校行事への参加も活動内容として教育委員会に報告する 等

（3）学校運営協議会規則 等

3 会長および副会長選任

会 長 池野 明隆 委員

副会長 本岡 好子 委員

4 学校運営方針について

（1）令和8年度加古川市立加古川小学校学校経営グランドデザイン

令和7年度第3回学校運営協議会において、教育課程等は既に承認済みではあるが、今年度取組の重点内容等について、資料をもとに校長より説明を行った。

- ・学校教育目標を「社会とつながり、自らへの人生豊かに切り拓く児童の育成～なぜ学ぶのかを未来の自分へとつなげる～」とし、学校運営方針をキャリア教育の視点で捉えなおした。
- ・全国学力・学習状況調査の結果から、本校児童の学力は高いが、児童質問紙調査から「学びの意義」が実感できていないという課題が浮き彫りとなった。今年度は、授業導入段階のオリエンテーションにおいて、どの教科でも「この学びが将来どのように役にたつのか」等について学ぶ時間設定をした。
- ・本年度の目玉として、複数担任で子供を見守る「スクラム担任制」を導入し、5月18日から本格始動する。
- ・子供の主体性を育むため、行事をアップデートし、「運動会」を「スポーツフェスティバル」へと名称変更して実施する。
→児童の主体性を尊重した行事運営の方向に合意された。

(2) 年間行事計画

資料をもとに教務主任より説明を行った。

- (教務)・5月28日に名称を改めた「スポーツフェスティバル」を開催し、高学年が考えたダンスを中学年に教えるなど、異学年交流を重視する。
- ・水泳学習は、昨年度に引き続き、民間施設(コナミスポーツ)への外部委託を継続し、専門指導員によるレベル別指導を行う。
 - ・11月21日に「ふれあい音楽会」、2月16日に「校内作品展」を予定している。
 - ・熱中症対策として、加古川市は1学期の終業式を例年より早め、7月17日に設定した。
→年間行事予定および、水泳指導の外部委託継続等について確認された。年間を通した、委員としての行事出席についても可能な範囲で協力を依頼。

5 協議ならびに意見交換

【地域連携および教育課題に関する協議】

- (委員)・学びの多様化学校設置について市教委関係者が町内会に訪問してこられた。市は「地域とともにある学校づくり」を掲げられているが、不登校生の現状や生徒指導上の課題等を地域が全く知らない中で、設置について説明されたり、協力依頼をされたりしても地域としての立ち位置がわからない。地域の町内会が学校に対してどのような立ち位置でいけばよいのか役割を明確にしてほしい。地域とともにと言われても、連携が難しい。
- (校長)・市としての考えを私がお話しすることはできないが、地域の皆様には「学校の応援団」としての立ち位置をお願いしたい。本校では、これまでも例えば2年生の学習時等には、町探検の計画を一緒に考えていただくなど、アドバイスや協力をお願いしている。学校の応援団としてこれからも連携や協力をお願いしたい。
- ・また、個人情報の観点から特定の児童名は出せないが、運営協議会の中でご質問があった生徒指導上の課題や不登校児童の現状についてお話をさせていただくことはできる。
- (委員)・学校が「応援団でよい」と明確にするならば、地域としても協力しやすい。

【決定事項】

- ・地域は学校の「応援団」としての立場を基本とし、教育活動の支援にあたることとした。
- ・不登校等の現状については、個人情報に配慮しつつ、運営協議会での共有を継続する。

【学校環境整備および地域学習への協力依頼】

- (教頭)・故障により使用停止中のビオトープを復活させるため、助成金(三菱UFJ環境財団)への応募を検討中であり、専門的な知恵を借りたい。
- (委員)・助成が難しければクラウドファンディングということにも挑戦してみてもどうか。
- ・6月中旬に2年生の「町探検」を実施する際、商店街等の訪問先紹介への協力を求める。
- (委員)・商店街連合の事務所へ連絡すれば、協力店舗のピックアップが可能である。
- (委員)・体育館に掲示してある絵画1枚が破損している。この絵画は、加古川小に代々伝わる由緒ある絵画であり、地域の総意である。予算建てして修理してほしい。

【決定事項】

- ・ビオトープ再生に関する助成金申請を進め、決定時には地域の専門知識を活用する。
- ・2年生の「町探検」における商店街との調整を、大川委員と石井委員を通じて行う。

- ・ 絵画修繕については、教育委員会に修繕費の補助についての「意見書」を提出する。

【教職員の働き方改革と教育の質の向上】

(教頭)・ICTを活用した欠席連絡システムの構築(15分以内の把握)や通知表の簡素化など、業務改善を進めている。

- ・ 教職員のなり手不足が深刻化する中、現場の負担を減らすアイデアが求められている。

(委員)・教員の給与水準を上げることが根本的な解決策ではないか。

(委員)・児童一人に対する教員数が多すぎると感じる。35人学級でもスクラム担任制の維持には負担が大きいのではないか。

- ・ 習熟度別にクラス分けを行う方が、教える側の負担が軽減され、効率的ではないか。

(委員)・担任一人に全てを負わせるのではなく、水泳指導のように専門家への委託(専科教員の活用)をさらに進めるべきである。

【決定事項】

- ・ 学校側は引き続きICT活用等による業務改善を推進する。
- ・ 習熟度別指導や専門委託の拡大については、今後の検討課題とする。

6 事務連絡

(1) 1学期の学校行事について

- ・ 6月12日に授業参観およびインターネットトラブル防止講座を開催する
- ・ 6月2日および15日に学校運営協議会委員を対象とした給食試食会を実施する

(2) 今後の予定について

- ・ 第2回は加古川ユニット教育推進協議会において開催予定
- ・ 第3回会議は2月に開催予定

(3) その他

- ・ 学校運営協議会委員の給食試食会の開催(6月に2回実施)

7 閉会あいさつ

